

全国医療ソーシャルワーカー協会会長会 役員会 議事録

日 時：2024年09月14日（土）13：30～16：30

会 場：ハイブリット

<現地>

〒1080014 東京都港区芝 5-32-9 ECS 第5ビル6階 ふれあい貸し会議室 田町 No50

<Zoom ミーティング>

<https://zoom.us/j/95346733061?pwd=ZJ0a4fprI3dIYOWZW7hxr90L2kiyQN.1>

ミーティング ID：953 4673 3061

パスコード：935947

(240901)

参加者：<現地>

中村敬(東海・静岡県協会)、木川幸一(北海道協会)、坂詰明広(北信越・新潟県協会)

野口百香(日本協会)

<Zoom>

袴田光樹(東北・青森県協会)、中根猛(関東・茨城県協会)、乾昌典(近畿・滋賀県協会)、森田千賀子(中国・岡山県協会)、【北嶋会長(九州・沖縄)代理】米倉康佑(長崎県協会会長)

<事務局>

日本協会組織運営部 小川晋平、清野圭司

欠席者：【中本会長(四国)代理】高原優(高知県協会副会長)

1. 議題

①自己紹介(ご自身の県協会やブロックでのトピックなど)

中根：会長は2期4年目。関東ブロックでは新規入会者の減少や役員の成り手不足が課題。年2回リモートでブロック会議している。

米倉：九州では、ブロック大会を毎年秋に開催。長崎県で開催予定であったが、福山雅治のライブと重なり11月30日開催となった。

森田：中国地区大会は、島根県で11月14日(土)に開催予定。岡山県医療ソーシャルワーカー協会は、岡山県医療ソーシャルワーカー協会という名称になって30周年となり、上野千鶴子さんをお呼び予定。岡山県協会は会員数が増えており、組織率も高い。

袴田：東北各県と情報交換しているが、人材不足の課題が挙がっている。11月23日(土)北海道・東北ブロックで交流会が開催される。

坂詰：会長は8期、16年目に入った。10月6日(日)に北信越医療ソーシャルワーカー研究会があり、野口会長が参加される。北海道の学会と重なってしまって申し訳ない。

木川：会長は4期目、日本協会理事の時に会長会事務局をしていた。会員は約900名いるが、会員増はなかなか伸びていない。経験年数によって、MSWの仕事の仕方が違う。業務開発なども必要だったが、今は退院支援をしていけば良いと思っているMSWも多いのではないかと。10月5日(土)～6日(日)に帯広市で北海道学会が開催される。

野口：能登半島地震について、1.5次避難所は石川県医療ソーシャルワーカー協会が支援を継続しているが、9月末で支援終了になる予定。珠洲市の支援は継続して取り組んでいく。こども家庭ソーシャルワーカーについては、来年3月に試験がある。6月28日時点で、440人分の受講枠しか確保されていない為、8月30日に日本医療ソーシャルワーカー協会で80名の講習実施枠を申請した。10月1日から日本協会会員のみ募集開始、10月6日より一般募集を開始する。manaableへの登録が1,700名を超えており、受講者が多い予想はしている。

中期事業計画について、9月7日(土)~9月8日(日)理事が参集して時間をかけて話しあった。会員増・3団体統合・都道府県協会とのこと等を協議した。

乾：近畿ブロックでの集まりが出来ていない。滋賀県協会の50周年事業を行い、野口会長にも来てもらった。

中村：Zoomで東海5県集まり話し合っている。合同で学会を検討中。県の間での異動も多く、東海5県での会員のデータベースを作れないかと思っている。来年2月8日に愛知県が名古屋で学会をするが、東海5県が相乗りで参加。静岡県も持ち込み企画をする予定。

会員が立て続けに2名亡くなり、どんよりしている。会員やOB等が亡くなった際の連絡方法について難しいと思っている。木川さんの経験年数のMSWの違いについてに繋がるが、当院に実習生が来ており、退院カンファレンスでの司会が上手い、その場を上手く回している等、MCと勘違いしているのかと感じてしまったが、個別支援とかをあまり学校で習っていないのか、聞くと学校ではコンサルテーション、ネゴシエーションなどが強調されているような事を言っていた。

② 次回会長会（11月）の会議内容の検討

●次回会長会(三重)について

(1)会場・・・三重県総合文化センター 大研修室 13時~17時で予約済

料金7,060円(税込)で三重県協会を立て替え払い

10分前からの入室可

無料Wi-Fiあるが、回線不安定

(2)学会会場見学・・・予約必要

現時点で、中・小・多目的ホール、レセプションルームとも予定あり

(中には入れず、外から遠回しに見る程度になる模様)

(3)会議方法・・・原則、集合開催のみ(全体投影のみオンライン配信とするか)

(4)会場へのアクセス・・・JR津駅から

・・・12:33発のバス乗車で12:38到着予定(1時間に1本の頻度)

・・・タクシーで約5分

・・・徒歩で約30分(1.8km)

(5)懇親会・・・津駅周辺で調整予定

(6)会長会での報告・・・学会の進捗や計画内容、会場の特徴、ホテル等の案内をしたいとの事(高村三重県協会会長)

米倉：距離や予算のことを考えると、オンラインも残してほしい。

木川：それぞれ良さがあるため、ハイブリッド開催が良いと思うが、グループワークは現地とオンラインをミックスしない方が良い。オンラインはオンラインのみで。できるだけ現地に来てほしい。予算規模が協会によって異なるので、オンラインも残す方法が良いだろう。ハイブリッドが良いのではないか。

坂詰：現地(会場)はパソコン1つで良いのではないか。グループワークは地域毎に行なわない方が良い。

中村：現地参加を基本とし、安定したネット環境を確保できるよう調整することとしたい。

<会長会での議題、テーマ>

中村：会長会も年数が経ち、会長も交代してきている。そこで、今までの成り立ちや歴史・課題等について木川さんから話す機会が欲しいが、良いだろうか。

木川：過去の話はドロドロしている。今までのことより、これからのことを話し合えると良い。前向きなテーマで。

米倉：未来に向けた話しをした方が良い。足並みを揃えられるような話をしてほしい。

乾：知っていたら知っていたで良いが、過去は話さなくても良い。

森田：ドロドロしていたのは知らないが、全国のMSWの話を語り合う方が良い。

木川：出来れば、日本協会からは国の動きや活動について話して欲しい。

野口：循環器病対策、犯罪被害者、はばたき事業団など動いている案件も複数ある為、話せるなら良い機会になる。

木川：政策医療は、各都道府県に行く。最近、医療基本法の賛同のFAXが届いたが賛同を依頼するに至る経緯が分からず、こういうものも説明を聞いて知りたい。医療基本法について、日本協会が賛同している意味等。成立するとどうなるのか等、話してほしい。

坂詰：会長としてどうしていいか分からなかった時、会長会で知り合って情報交換出来た。会長会で実習、ラダーなどの部会活動も出来、メリットがあると思う。

乾：昨年、法人化したのが、やっている事は変わらない。社会的な役割を求められるが、何をしたら良いかと考える。

米倉：組織継続や理事の負担、成り手不足について話せると良い。

中根：法人化で社会的な役割はますます求められる。学生、会員、成り手不足の問題は繋がっている。

森田：岡山県は組織率は高い為、そこは困っていない。理事の成り手については、厳しい。

袴田：東北も成り手不足。理事の若帰りが出来ない。

中村：グループワークをすとしても、テーマの導入の為の話はあると良い。

米倉：大分県は傍から見て組織が出来ている。(担い手のテーマ候補)

森田：会員は微増。ケアマネ協会が病院の地域連携室の調査をしており、その数から計算すると組織率は約9割だった。

木川：北海道は毎年管轄支部ごとに調査をして組織率などは把握出来ている。やっているものは北海道協会の規模でやっているものの為、それを他に言ってもしょうがない。厚労省の調査の数はあてにしていない。

野口：そうは言っても厚労省の調査は貴重な全国データの一つで参考にしている。協会によっては、厚労省の数字よりMSWが多い所もあるが。

木川：このテーマのグループワークの前段では、全国基礎調査の報告もして欲しい。

中村：法人化して良い事もある。Zoom 契約、クレジットカードを作るとか。

木川：会員数 50～100 人の協会だと法人化するメリットがあるのかという事もある。日本社会福祉社会が全国の都道府県に法人化を指示した事があったが、それは名称が勝手に使用されないようにという理由だった。

<グループワーク>

テーマ

○組織継続について、大分県協会(脇坂会長)に話してもらう

○会員減少について、岡山県協会(森田会長)に話してもらう

○法人化について、静岡県協会(中村会長)に話してもらう

※日本協会の基礎調査報告後にグループワークを行なう

<提案>

木川：会長会の事を話すのは良いが、会則変更についての話もしたい。今の状況を見ていると日本協会と都道府県協会の立場が異なる。日本協会と都道府県協会はフラットな立場だが、役割(ミッションが異なる)。日本協会と都道府県協会の役割を明確にしてはどうか。日本協会は国との話し合いや全国の把握、都道府県は実際の活動をしている。会長会で話し合っていくには、たたき台が必要でありワーキングチームを作って三重県の全国大会で提案したい。

野口：国から依頼はあるが、活動の実態は都道府県で行なわれている。日本協会から発信するが、現場の実態が分かるのは都道府県協会。現場の実態を吸い上げていきたい。国へのチャンネルを持っているのが日本協会。

乾：必要なら変更をするのは賛成。

中根：変更は賛成。

森田：なぜこうなったのかも聞いて変更を提案して欲しい。

乾：政治的な事は日本協会というように役割が明確になるのは良い事だと思う。

袴田：会長会には、前の会長まで参加しておらず、自分の代になってから参加している。

野口：日本協会としては大変うれしい話であり、そういう考えはあったが十分ではなかった。ぜひ、話を進めて行って欲しい。

<提案の結果>

○会則見直しを検討するワーキングチームを作り、約半年で取りまとめ、三重大会で提案。

③ 次回役員改選までの活動内容の検討

坂詰：部会については特に報告はない。目標は達成している。

木川：研修も報告はない。

中村：既存の部会については、活動目的を達成出来ている。これから2年間は、会則変更に伴うワーキングを実施する為、それを活動にしたい。

④ そのほか協議事項

特になし

2. その他

① 役員会メーリング 2024kaichokai-yakuin@jaswhs.or.jp

- ・9/17(火)より運用開始予定。
- ・役員、事務局が登録。
- ・メールアドレスの追加希望があれば、事務局までご連絡下さい。

② 日本協会から

(1) 2024年度「全国都道府県協会 災害担当者会議」開催のご案内

- ・日時：2024年11月20日（水）19：00～21：00
- ・方法：Zoomによるオンライン
- ・内容：当協会の取り組み報告、石川県協会の取り組み報告、グループワーク・総括
- ・申込：URLまたはQRコードから（締切：9月30日（月）、1協会あたりの参加数制限なし）
- ・直前だが、会長会当日にも案内したい。

(2) 業務指針改定チームの公募

- ・日本協会組織運営部で行う事業となっている。日本協会で決められるものではない。全国のMSWの声を聴きながら進めたい。
- ・今後、一般公募する為、相応しい方がいればご紹介、参加をして欲しい。

(3) 基礎調査(進捗報告)

- ・現在、3協会が未回答であり集計途中である。
- ・集計終了後、会長会開催前に役員会メンバーに共有する。